

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-81949

⑬ Int.Cl.⁹

F 16 H 1/28

識別記号

庁内整理番号

8613-3J

⑭ 公開 平成2年(1990)6月25日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 遊星歯車機構

⑯ 実 願 昭63-162089

⑰ 出 願 昭63(1988)12月14日

⑱ 考 案 者 鈴木 利 武 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

⑲ 考 案 者 東 山 康 彦 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

⑳ 出 願 人 トヨタ自動車株式会社 愛知県豊田市トヨタ町1番地

㉑ 代 理 人 弁理士 渡辺 丈夫

㉒ 実用新案登録請求の範囲

リングギヤとサンギヤとの少なくともいずれか一方に啮合する複数のピニオンギヤをそれぞれピニオンピンの外周に回転自在に嵌合させ、かつ各ピニオンピンの両端部をキャリヤによつて支持してなる遊星歯車機構において、

前記キャリヤが、前記ピニオンピンの一方の端部を支持するキャリヤボデーとピニオンピンの他方の端部を支持するキャリヤカバーとによつて構成され、これらのキャリヤボデーとキャリヤカバーとのいずれか一方の外周部には、各ピニオンギヤの間で前記ピニオンピンと平行に延出しかつ先端側が小径の内層部と大径の外層部とに二股状に分割されたブリッジ部を有し、そのブリッジ部の先端部がキャリヤボデーとキャリヤカバーとのい

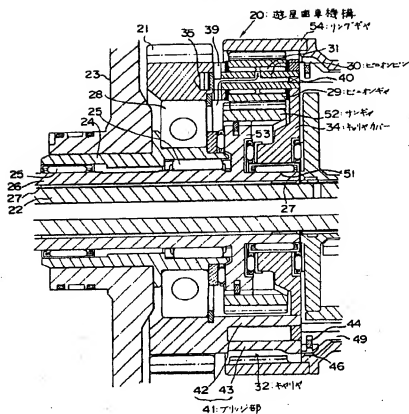
ずれか他方に固定されていることを特徴とする遊星歯車機構。

図面の簡単な説明

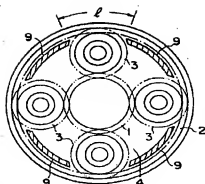
第1図はこの考案の一実施例を示す断面図、第2図はそのキャリヤを主体に示す分解断面図、第3図は遊星歯車機構の一般的な構造を示す模式図、第4図は従来の遊星歯車機構の一例を示す断面図である。

20……遊星歯車機構、29……ピニオンギヤ、30……ピニオンピン、32……キャリヤ、33……キャリヤボデー、34……キャリヤカバー、41……ブリッジ部、42……内層部、43……外層部、52……サンギヤ、54……リングギヤ。

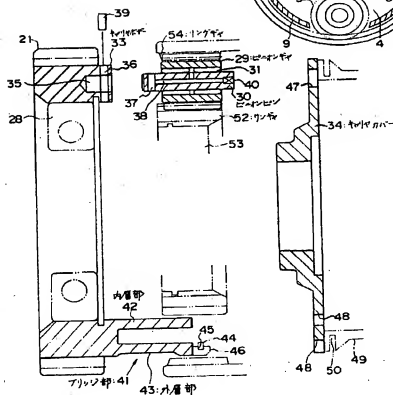
第1図



第3図



第2図



第4図

